

ABC

Asahi Broadcasting Corporation



第86期 中間事業のご報告

平成24年4月1日～平成24年9月30日

朝日放送株式会社

証券コード：9405



代表取締役社長

脇阪 聰史

株主の皆様方におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今上半期、当社はテレビ視聴率において全日・ゴールデン・プライム・プライム2すべての時間帯で首位となり、昨年度下半期に続く四冠を達成いたしました。開局以来初の2期連続四冠という快挙で、新たな中期経営計画の初年度を幸先よくスタートできましたのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。幸いこの秋の改編でスタートした新番組も、軒並み高視聴率を獲得しています。気を緩めることなく、年間四冠、年度四冠獲得に向けて邁進してまいります。

今期の連結業績は、好調な視聴率を背景に主力のテレビスポットが地区シェア26%台を獲得し、売上高・営業利益・経常利益のいずれも前年同期を上回る結果となりました。

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立つて、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清らかな創意によって産業の発展を期する。

- 正しい報道 **A**ccurate information
- 美しい表現 **B**eautiful expression
- 楽しい番組 **C**heerful programs

9月末をもってザ・シンフォニーホールの所有権を移転しましたことで、今後は固定資産税・減価償却等の費用を圧縮し、通期でも増収増益を見込んでおります。

広告市況は夏場以降、世界的な景気停滞や不安定な中国情勢の影響で不透明さを増していますが、引き続き良質で強力なコンテンツをお届けすると共に、海外を含めた新たなビジネス展開にも積極的に取り組み、通期の売上高経常利益率6%必達、グループ全体の増収増益に向け地に足をつけた攻めの姿勢を貫いてまいります。

株主の皆様方におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長

脇阪 聰史

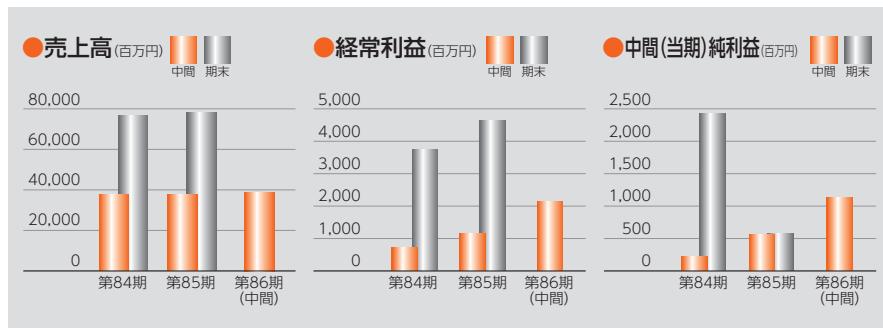


● 第86期中間期連結業績

売上高 **388億4千6百万円**

経常利益 **21億4千7百万円**

中間純利益 **11億4千1百万円**



震災の復興需要等により、ゆるやかな景気回復の兆しが見られたものの、先行き不透明な状況が続く経済環境のなか、当社グループでは、放送事業、ハウジング事業で売上げを伸ばし、9億1千6百万円(2.4%)の増収となりました。

一方、費用面では、売上原価が5億4千5百万円(2.1%)減少し、販売費及び一般管理費については3億8千4百万円(3.5%)増加しました。

以上の結果、経常利益は9億7千8百万円(83.7%)の増益に、中間純利益は5億8千1百万円(104.0%)の増益となりました。(比較は全て前年同期比)

セグメント



● セグメント別 売上高

放送事業 **339億2千9百万円**

ハウジング事業 **44億9千3百万円**

ゴルフ事業 **4億2千4百万円**

放送事業 ●

当社グループが主力事業を展開する放送事業では、当中間期の売上高は、前年同期に比べ7億3千5百万円(2.2%)の増収となりました。当社は、当上半期平均視聴率において、全日・ゴールデン・プライム・プライム2帯で、全て首位となる四冠を達成したこともあり、主力のテレビスポット収入が、前年同期比7.2%アップしました。

ハウジング事業 ●

ハウジング事業では、主力事業の住宅展示場運営において空区画への新規出展誘致や新しく展示場がオープンしたことなどにより、売上高は、前年同期に比べ1億8千3百万円(4.2%)の増収となりました。

ゴルフ事業 ●

ゴルフ事業の売上高は、名義書換料の減少などにより、前年同期に比べ2百万円(0.5%)の減収となりました。一方で、コストの見直しを継続して進めたことにより営業費用が減少し、収支は改善しました。



● **上半期初! (昨年度下半期から2期連続) の四冠を獲得。**

2012年度上半期の視聴率は、全日、ゴールデン、プライム、プライム2の4部門で1位となり、上半期として初(昨年度下半期から2期連続)の四冠を獲得しました。

10月編成では、四冠の良い流れを受け、各レギュラー番組を強化・継続する事を基本とした改編を行い、引き続き下半期での全日帯トップを確保、上半期に続いて下半期四冠、さらには年間・年度での四冠を狙っていきます。

全日帯トップに大きく貢献したのは、「おはようコールABC」、「おはよう朝日です」の朝帯ワイド情報2番組です。

「おはようコールABC」は、横山太一アナウンサーと乾麻梨子アナウンサーのフレッシュコンビも好評で、上半期平均で第2部が6.8%と絶好調、ABCの全日視聴率を引っ張っています。



● 「おはようコール ABC」
毎週月～金曜 午前5時



● 「おはよう朝日です」
毎週月～金曜 午前6時45分

「おはよう朝日です」も、平均11.1%と引き続き好調です。8月に、土曜日に放送している「おはよう朝日 土曜日です」と合わせて放送10,000回を迎えました。11月には前司会者の宮根誠司も迎え、記念のスペシャル番組を放送しました。

昨年秋にスタートした夕方帯ニュースの「キャスト」は、メインMC伊藤史隆アナウンサーと、高橋大作アナウンサー、塚本麻里衣アナウンサーのチームワークも抜群、その日あったニュースを分かりやすく解きほぐす語り口も好評で、幅広く視聴者に浸透してきています。



● 「キャスト」 毎週月～金曜 午後4時50分

また、週末の視聴率改善を目指して、スタートした日曜23時枠のバラエティ「東西芸人いきなり!2人旅」。こちらは、M1(20-34才男性)を中心とした若年層に支持されるコンテンツになっており、当期平均視聴率は8.0%。前年同期の日曜ナイトプレミア枠と比較しても1.3%アップしています。



● 「東西芸人いきなり!2人旅」 毎週日曜 午後11時15分

平日のプライム2(23時~25時)では、月曜日から木曜日23時台のローカルベルト番組「ナイトinナイト」の上半期平均視聴率が10.2%、金曜日の「探偵!ナイトスクープ」が17.3%と、いずれも堅調に推移、プライム2の2003年上期以降連続首位に貢献しています。



●「探偵!ナイトスクープ」 毎週金曜 午後11時17分

プライム(19時~23時)では、22時台の「報道ステーション」が上半期の平均で14.8%と高視聴率を獲得しています。火曜20時の「みんなの家庭の医学」は、当期の平均で11.3%と好調に推移、「県民性」をテーマに新しく開発した3時間スペシャルが11.2%を獲得するなど、引き続き医学・健康エンターテインメントとして、視聴者から高く支持されています。日曜20時の「大改造!!劇的ビフォーアフターSEASON II」は、7月に初めて取り組んだ2時間半スペシャルが12.8%と高視聴率だったのをはじめ、2週連続企画などレギュラーも引き続き好調で、上半期平均で12.0%を獲得しました。



●「たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学」 毎週火曜 午後8時



●「大改造!!劇的ビフォーアフター SEASON II」 毎週日曜 午後7時58分

2011年4月に、ドラマ枠から5年ぶりにバラエティーに改編した金曜21時枠の「Oh!どや顔サミット」。上半期の平均視聴率は11.8%でした。芸能界の二世タレント企画や、芸能人がダイエットに挑戦するビフォーアフター企画なども好評で、さらに安定した視聴率獲得を目指してまいります。



●「Oh!どや顔サミット」 毎週金曜 午後9時

プライムでは、この3番組のほかに、土曜21時から22時台の2時間サスペンスドラマ「土曜ワイド劇場」を月1回の割合で当社が制作しています。上半期の当社制作分の平均視聴率は、15.1%と高い人気を維持しております。10月からは15分枠大しておりますが、引き続き高いクオリティを保ちながら、さらにワイドに高い支持を得る作品を送り出していきましょう、努めてまいります。

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ



●土曜ワイド劇場「アナザーフェイス 刑事総務課・大友鉄」 今年5月放送



●全日・平日平均で首位! (2012年4月度調査)

ABCラジオは今年4月度聴取率調査で全日平均、平日平均で首位となりました。

IPサイマルラジオ(ラジコ)での聴取をにらんで編成した「NMB48学園」(土曜夜10時放送)などで着実に数字を上げました。続く6月度聴取率調査では、全日、平日平均で惜しくも僅差で2位となりましたが、4月にリニューアルした「慶元まさ美のおはようパートナー」(月～金朝5時放送)や35周年となる「おはようパーソナリティ道上洋三です」(月～金朝6時半放送)で数字がアップするなど、堅調な人気を保っています。

●「おはようパーソナリティ道上洋三です」で数々の35周年企画 35周年を迎えた「おはようパーソナリティ道上洋三です」では、今年一年、毎月様々な企画をお送りしています。



5月4日に記念公開生放送をホームズスタジアム神戸で行い、早朝にもかかわらず1万2千人のリスナーの方が集合しました。

6月には番組初の公式本「ハイ!どうじよ」を発売。



7月には35周年記CD「あなたへの朝」を発売。

●新たなパーソナリティの発掘

7月に新番組「ガチ・キン」がスタート、パーソナリティはユニークな経歴を持つ異端児SoCo。週末の夜に熱いアニキがガチで向き合うというコンセプトのもと、若い世代のリスナーの取り込みを図っています。



●「ガチ・キン」
毎週金曜 午後10時放送

●イベントも目白押し

ABCラジオではリスナーの方々と向き合い、直接触れ合える機会を多く作っています。

4月29日にはほたるまちチャリティーイベントの一環として、リバーデッキで「磯部・柴田の日曜のびのび大放送」の公開生放送を、6月2日には「ほたるまちラヂオ」と題して、ほたるまちの特設ステージで朝の「征平・吉弥の土曜も全開!!」の公開生放送から、夜の「ほたるまちキャンドルジャズナイト」まで、一日をかけたイベントで多くの来場者を迎えました。



6/2 ほたるまちキャンドルジャズナイト



キャンペーンソングはコブクロの「ココロの羽」に決定。

また、8月にスタートした在阪ラジオ6局共同キャンペーン(NHK・MBS・ABC・OBC・FM OSAKA・FM802)「ラジオにタッチ!」でも三代澤アナを中心に、リスナー拡大につなげるキャンペーンを実施しています。

ラジオに
タッチ!

Touch the RADIO!

●大阪6局共同制作ラジオドラマ 「6COLORS」

最終回12/10(月)よる8時放送

出演:小栗旬、蒼井優 ほか

11月にスタートした、気鋭の劇作家6人が6つの色をテーマにオリジナル脚本を書き下ろした1話完結の30分ドラマです。最終回となる第6話「桜色のドレスシャツ」(作:土田英生(劇団「MONO」代表))は12月10日放送。期間限定で「ラジオにタッチ!」のウェブサイトでも公開されます。

ラジオに
タッチ!
Touch the RADIO!



●「堀江政生のほりナビ!!」 毎週火～金曜 午後7時放送

この秋、平日の夜に3時間の大型ワイド番組がスタート!堀江アナが、ニュースキャスターや報道記者の経験を生かした分かりやすいニュースの紹介や、芸能・スポーツ、クラシック音楽と幅広い守備範囲を生かし、聴きどころたっぷりの情報をお届けします!



●ABCラジオカレンダー2013

今回のテーマは「パーソナリティのOFF SHOT大集合!」。ABCラジオのパーソナリティの普段の表情を集めた写真が満載の楽しいカレンダーに仕上がっています。ジュンク堂書店(関西地区・岡山)各店、近鉄ブックセンター各店、楽天ブックス(インターネット書店)で販売しています。



(税込1,200円)

■その他事業 EVENT etc.

●イベント事業

4月には、ABCラジオの人気パーソナリティ三代澤康司アナとフォーク界の大御所・南こうせつが、ザ・シンフォニーホールでコラボするまさにABCの特色を生かしたコンサート「ドッキリ!ハッキリ!南こうせつ・クラシックですか!?!」を開催。チケットは番組先行予約で売り切れ、フィナーレには観客全員総立ちとなりました。



同じく4月には毎週日曜朝放送のスーパー戦隊シリーズを舞台化し、アクションショーと出演俳優のトークショーの二部構成で送る「ゴーカイジャーファイナルライブ」を開催して、6公演1万2,000席を完売しました。



6月に、京都フィルハーモニーと実力派歌手岩崎宏美のコラボステージ「京フィルwith岩崎宏美」を、8月にはフランクシナトラの歌声に乗せて、NYのトップダンサーたちが華麗なダンスを披露するブロードウェイミュージカル「カム・フライ・アウェイ」を開催しました。



また、恒例となった西日本最大のロックフェス「サマーソニック2012」を今年も大阪・舞洲で2日間開催。途中落雷による中断というアクシデントもありましたが、2日間で約8万3,000人が海外国内のトップアーティスト達の演奏に熱狂しました。



また人気ドラマシリーズ「相棒」に参加して楽しめる推理アクション「相棒展プレミアム2」を大丸京都店、梅田店で開催し、合計で4万人以上の記録的な入場者を集めました。



© Universal Music

五嶋龍

© Kiyotaka Saito

諏訪内晶子



ザ・シンフォニーホールでは、今期も五嶋龍や前橋汀子、諏訪内晶子などの有名アーティストが数多く登場し、素晴らしい演奏を聞かせました。

また、人気指揮者・金聖響が関西フィルと組み、楽聖達の音楽を特集する企画コンサート「神々の音楽」を3回開催し成功を収めました。

更に、ピアニスト横山幸雄がショパンの遺した全166曲を二日間4ステージに亘って演奏し尽くす、「ショパンプロジェクト」は大いに注目を集めました。

コンテンツ事業

2011年に参入したスマートフォン事業では、2012年9月までに約6,600人の有料会員を集め、高校野球関連コンテンツでは35万6,000人の訪問者を獲得しました(昨年比30%増)。

また、高校野球関連の無料アプリを4種類配信し、このうち1つはGoogle Play「ウィジェット」部門で1位を獲得するなど合計7万以上のダウンロードを記録しました。

高校野球での新しい試みとして、夏の甲子園大会の48全試合を1試合ずつDVD化して注文販売する事業も始めています。



日本女子プロゴルフ選手権とマイナビABCチャンピオンシップを、これまで韓国のゴルフチャンネルに番組販売していましたが、2012年からこの2つのトーナメントを同じ韓国のゴルフチャンネルに3年契約で販売することになりました。

海外への番組販売は、昨今の超円高にもかかわらず順調で、2012年度上半期の売上は前年比115%と、着実に事業を拡大しています。「みんなの家庭の医学」「劇的ビフォーアフター」の既存の台湾や香港、タイへの販売に加え、「にっぽん菜発見」の台湾への新規販売や、JALへの「旅サラダ・海外の旅」の機内上映新規販売が売上増の要因です。

番組フォーマット販売ビジネスでは、英国制作会社大手のZodiakと7月に新規提携し、下期に新規の共同開発商品を販売開始予定です。

今年2月にスタートした「スマイルプリキュア!」の商品化ビジネスは、2012年上半年は前年比104%と順調です。今年夏に、お台場・大阪・博多に期間限定のオフィシャルショップ「プリキュアプリティストア」を出店し、好評でした。(大阪は好評につき、現在も出店中です)



© ABC・東映アニメーション



(販売終了)

他にも、5月に土曜ワイド劇場「京都殺人調書」を書籍化、「劇的ビフォーアフター」SNSゲームをスタート。8月に「プリキュアプレミアムコンサート」DVD、「しゃかりき駐在さん」からファミリーマートオリジナル弁当を販売しました。



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期	前 期
	平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	34,297	34,800
固定資産	58,699	59,821
有形固定資産	39,367	40,448
無形固定資産	679	838
投資その他の資産	18,652	18,534
資産合計	92,997	94,621

科目	当中間期	前 期
	平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	12,234	14,023
固定負債	23,235	23,700
負債合計	35,470	37,723
(純資産の部)		
株主資本	53,774	52,817
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	45,365	44,408
自己株式	△ 500	△ 500
その他の包括利益累計額	286	648
その他有価証券評価差額金	286	648
少数株主持分	3,465	3,432
純資産合計	57,526	56,898
負債純資産合計	92,997	94,621

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで
売上高	38,846	37,930
売上原価	25,339	25,885
売上総利益	13,507	12,045
販売費及び一般管理費	11,424	11,039
営業利益	2,083	1,005
営業外収益	174	264
営業外費用	109	100
経常利益	2,147	1,169
特別損失	7	—
税金等調整前中間純利益	2,140	1,169
法人税等	904	514
少数株主損益調整前中間純利益	1,236	654
少数株主利益	95	95
中間純利益	1,141	559

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,672	2,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,558	△ 1,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 719	△ 721
現金及び現金同等物の増減額	394	667
現金及び現金同等物の期首残高	17,364	12,695
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,759	13,362

(注) 1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。
2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

剰余金の配当に関する事項

		当 期	前 期
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 4.5円	普通配当 4.5円
	期 末	普通配当 4.5円(予想)	普通配当 4.5円
	年 間	9円(予想)	9円



● 会社の概況 (平成24年9月30日現在)

会社名 朝日放送株式会社
 Asahi Broadcasting Corporation
創立 昭和26年3月15日
資本金 52億9,980万円
従業員数 642名
事業内容 放送法によるテレビ放送事業
 およびラジオ放送事業 他
本社 〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
 Tel.(06)6458-5321 (代表)

● 役員 (平成24年9月30日現在)

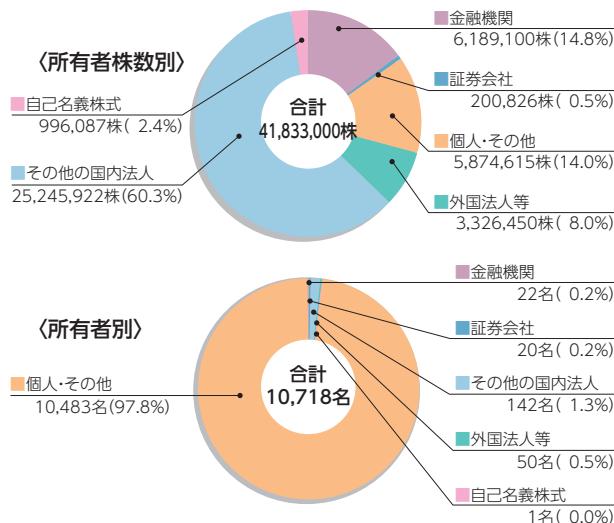
代表取締役会長	渡辺 克信	取締役	小林 研一
代表取締役社長	脇阪 聡史	取締役	大塚 義文
代表取締役専務取締役	和田 省一	取締役	沖中 進
常務取締役	田仲 拓二	取締役	山本 晋也
常務取締役	古川 賢三	取締役	金澤 一
取締役	山口 昌紀	常勤監査役	木下 栄一
取締役	坂井 信也	常勤監査役	山本 良生
取締役	早河 洋	監査役	野村 正朗
取締役	横井 正彦	監査役	佐藤 茂雄
取締役	尾崎 裕	監査役	平澤 正英

● 株式の概況 (平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **144,000,000株**
- 発行済株式総数 **41,833,000株**
- 株主数 **10,718名**
- 大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	15.2 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.5
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.2
学校法人帝京大学	1,554,000	3.8
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.7
日本生命保険相互会社	1,256,500	3.1
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.6
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITED - POLAR CAPITAL FUNDS PLC	1,000,000	2.4
近鉄バス株式会社	800,000	2.0
株式会社竹中工務店	776,600	1.9

● 株式分布状況 (平成24年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

〈※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更になります。〉

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号

TEL 06-6458-5321 (代表)

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK